

「平穩死」って？



参加費 500円
定員 500名

私らしく生きるために



●どなたでも受講できますので、お誘い合わせの上ご参加ください●

10月19日(日)

13:00~16:00 (受付12:20~)

広島国際会議場

地下2階 国際会議ホール「ヒマワリ」

〒730-0811 広島市中区中島町1番5号
(平和記念公園内) TEL082-242-7777

『平穩死 10の条件』

第1部 尼崎市でクリニックを開業する「ドクター和」こと



講師 長尾 和宏 先生

医療法人社団裕和会 理事長
長尾クリニック 院長

第2部 先生を囲んで話しましょう!!

お申し込み方法 / 住所・名前・電話番号・ご希望チケット枚数を明記し、FAXまたはEメールでお申込みください。 ※参加費500円は当日会場の受付にてお支払いください。

◆Eメールアドレス : d-hiro@kobepharma-u.ac.jp ◆お問い合わせ先: 米田 090-1188-7307 洞 080-1903-0172

主催: 神戸薬科大学広島生涯研修企画委員会 後援: 広島市、(公財)広島市文化財団、広島県薬剤師会

市民公開講座 参加FAX申込書

◆FAX: 桐原082-211-2494 森川0829-56-3529

フリガナ			
お名前			ご希望チケット枚数 枚
ご住所	〒		
TEL	() -	FAX	() -

個人情報の取り扱いについて: いただきました個人情報は、適切に安全管理し、本件に関する連絡以外には使用いたしません。法令に基づき開示する場合を除き、同意なく開示・提示いたしません。

医療法人社団裕和会理事長
長尾クリニック院長

1984年 東京医科大学卒業、大阪大学第二内科入局
1991年 市立芦屋病院勤務
1995年 兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業

日本慢性期医療協会理事
日本ホスピス在宅ケア研究会理事
日本尊厳死協会副理事長
関西国際大学客員教授
東京医科大学客員教授(高齢総合医学講座)

【著書】

一般書

『平穏死・10の条件』(ブックマン社)

『抗がん剤・10のやめどき』(ブックマン社)

『胃ろうという選択、しない選択』(セブン&アイ出版)

『平穏死という親孝行』(アーススターエンターテイメント)

『がんの花道』(小学館)

『家族が選んだ平穏死』(祥伝社)

『医療否定本に殺されないための48の真実』(扶桑社)

『ばあちゃん、介護施設を間違えたらもっとボケるで!』(ブックマン社)

『平穏死できる人、できない人』(PHP社)など多数

長尾クリニックを開業する前、長尾先生は大学病院などに勤務し、多くの患者さんを診療してこられた。そこで行なったのは、さまざまな医療行為を重ねる延命治療。しかし、その延命治療によって苦しい最期を迎える患者さんを見ているうち、「人はなぜ、死ぬ時にここまで苦しまなくてはならないのか」という問題意識を持つようになったという。

その後、1995年の阪神・淡路大震災で被災した人々を治療した体験から、病院という組織から離れることを決意。「なりたかったのは、地域の人々の生老病死に寄り添う“町医者”。病気だけでなく全身を診て、人間を診る医師になりたいと言う夢を、学生時代から持っていた」と、クリニック開業のきっかけとなった志を語る。

20年間の在宅医療で看取った患者さんは、700人以上。そのほとんどが、“平穏死”だったと言われている。

■ 講座内容 『平穏死 10の条件』

第1部 長尾 和宏 先生 講演

胃ろうを勧められたけど造るべき? 拒否したらどうなるの?

在宅医療に切り替えたいけど、病院は許してくれるの?

抗がん剤をギリギリまで打つことに意味はあるの?

食べたら死ぬよと言われたけど、最期くらい、食べてもいいのでは?

大病院のお医者さんには聞きづらい、あんなことやこんなこと……。

第2部 長尾先生を囲んで話しましょう!!